

2021年度第3四半期 決算の概要

2022年2月2日

みずほフィナンシャルグループ

MIZUHO

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

組織の略称

FG : みずほフィナンシャルグループ
 BK : みずほ銀行
 TB : みずほ信託銀行
 SC : みずほ証券

RBC : リテール・事業法人カンパニー
 CIC : 大企業・金融・公共法人カンパニー
 GCC : グローバルコーポレートカンパニー
 GMC : グローバルマーケットカンパニー
 AMC : アセットマネジメントカンパニー

為替レート

➤ 管理会計（計画レート）

	計画レート
USD/JPY	108.00
EUR/JPY	126.36

➤ 財務会計（期末TTM）

	20/12末	21/3末	21/12末
USD/JPY	103.52	110.72	115.02
EUR/JPY	126.99	129.76	130.52

計数の定義

連結業務純益 : 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整

ETF関係損益等 : ETF関係損益（2行合算）+営業有価証券等損益（SC連結）

顧客部門 : RBC、CIC、GCC、AMCの速報値合計

市場部門 : GMCの速報値

経費（除く臨時処理分等） : 経費（除く臨時処理分）－のれん等償却

親会社株主純利益 : 親会社株主に帰属する四半期純利益

グループ合算 : BK、TB、SC、及び主要子会社等の合算（管理会計）

2行合算 : BK単体+TB単体（財務会計）

決算の概要

(億円)	21年度 3Q累計	前年同期比
連結粗利益 + ETF関係損益等 ^{*1}	16,992	+774
経費(除く臨時処理分等)	△10,293	△102
連結業務純益 + ETF関係損益等^{*1}	6,845	+738
うち顧客部門	4,845	+1,226 ^{*2}
うち市場部門	1,872	△799 ^{*2}
(連結業務純益)	(6,807)	(+723)
与信関係費用	△1,479	△497
株式等関係損益 - ETF関係損益等 ^{*1}	△335	△5
経常利益	4,976	+487
特別損益	574 ^{*3}	△121
親会社株主純利益	4,786	+1,242

- 連結業務純益 + ETF関係損益等：**
 顧客部門が堅調に推移し前年同期比で増益
 年度計画 8,200億円^{*4} に対し、83%と順調に進捗
- 親会社株主純利益：**
 与信関係費用が増加した一方、本業収益の積み上げや
 税効果による特殊要因^{*5} 等もあり前年同期比で大幅に増益
 年度計画 5,300億円^{*6} に対し、90%の進捗率

主要グループ会社の四半期純利益

(億円)	21年度 3Q累計	前年同期比
みずほ銀行(連結) ^{*7}	2,904	+246
みずほ信託銀行(連結)	324	+62
みずほ証券(連結)	525	△84
アセットマネジメントOne	123	+18

*1: ETF関係損益等37億円(前年同期比+15億円) *2: 前年同期の計数を21年度管理会計ルールに組み替えて算出 *3: 退職給付信託返還益663億円(前年同期比+519億円)

*4: 中間期に年度計画を7,900億円から+300億円上方修正 *5: 子会社の資本政策の見直しにより第1四半期に実施したSCの資本適正化に伴う税効果影響等(+698億円)。なお通期決算における同影響額は減少する見込

*6: 中間期に年度計画を5,100億円から+200億円上方修正 *7: 米国みずほ証券の四半期純利益230億円(前年同期比△104億円)を含む

カンパニー別業績

グループ合算、管理会計(速報値)

(億円)	業務粗利益 ^{*1}		経費 (除く臨時処理分等)		業務純益 ^{*1}		四半期純利益 ^{*1}	
	21年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}	21年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}	21年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}	21年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}
リテール・事業法人	5,191	+350	△4,650	+75	593	+442	551	+661
大企業・金融・公共法人	3,499	+189	△1,484	+57	2,056	+253	927	△85
グローバルコーポレート	3,884	+500	△1,937	△58	2,049	+461	1,450	+542
グローバルマーケット	3,517	△733	△1,639	△66	1,872	△799	1,250	△523
アセットマネジメント	440	+76	△249	△11	147	+71	66	+31
カンパニー合計	16,531	+382	△9,958	△4	6,717	+427	4,244	+627
FG連結	16,992	+774	△10,293	△102	6,845	+738	4,786	+1,242

*1: グローバルマーケットには2行合算のETF関係損益を含む、FG連結には2行合算のETF関係損益、SC連結の営業有価証券等損益を含む

*2: 前年同期の計数を21年度管理会計ルールに組み替えて算出

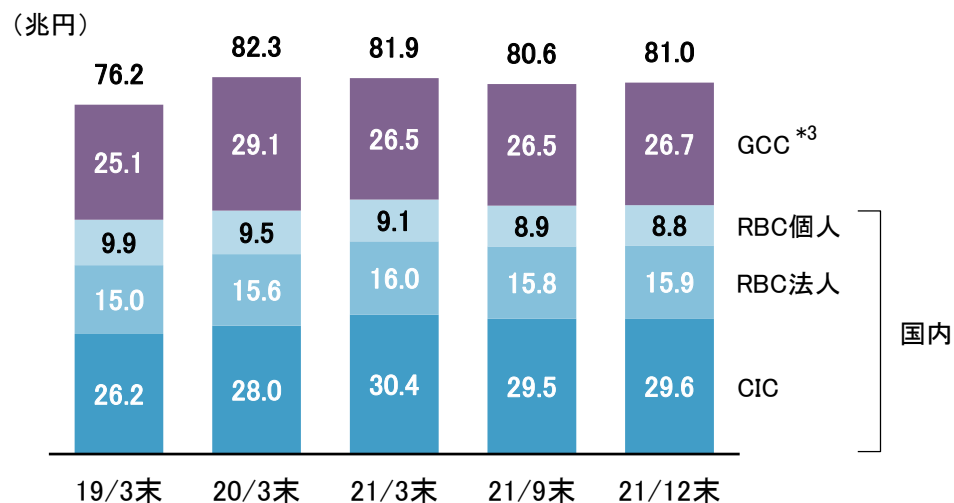
B/Sの概要

貸借対照表(21年12月末) ()内は21/3末比 連結

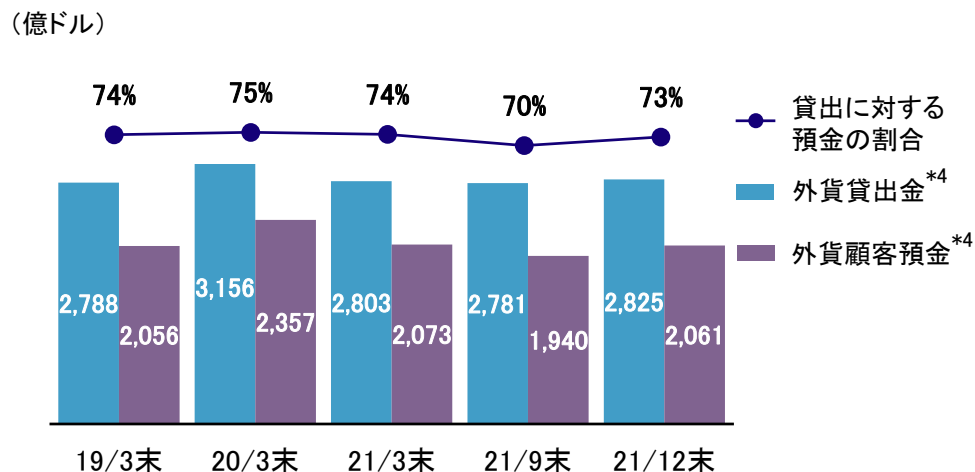
総資産 225兆円 (Δ0.1兆円)

貸出金	預金・譲渡性預金
83兆円 (Δ0.6兆円)	148兆円 (Δ2.2兆円)
有価証券	その他
40兆円 (Δ3.6兆円)	67兆円 (+2.0兆円)
日本国債 17.3兆円 (Δ4.0兆円) 外国債券 13.0兆円 (+0.2兆円) 日本株式 3.3兆円 (Δ0.2兆円)	純資産
その他	9兆円 (+0.0兆円)
102兆円 (+4.1兆円)	

貸出金の内訳(末残) *1 *2 BK+TB、管理会計



外貨預貸構造(末残) *2 *3 BK、管理会計

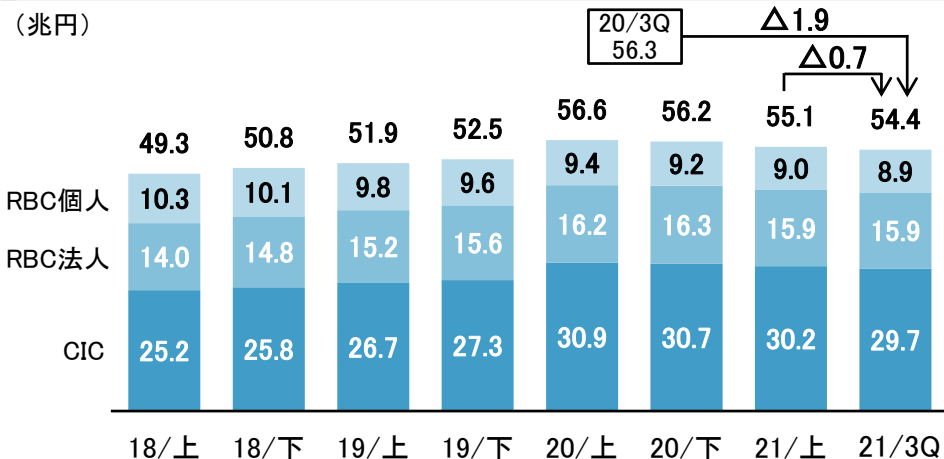


*1: グループ内貸出金を除く、国内は政府等向け貸出金を除く *2: 21年度管理会計ルール(19/3末~21/3末は遡及修正)

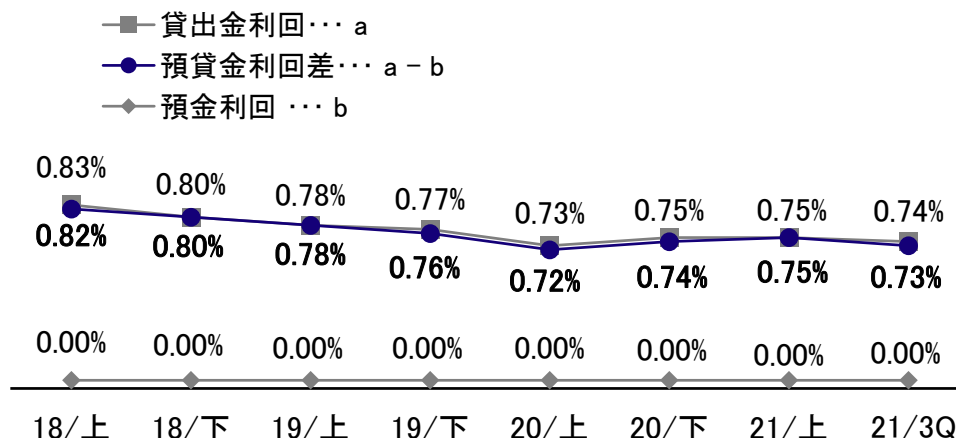
*3: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) *4: 国内を含む

貸出金

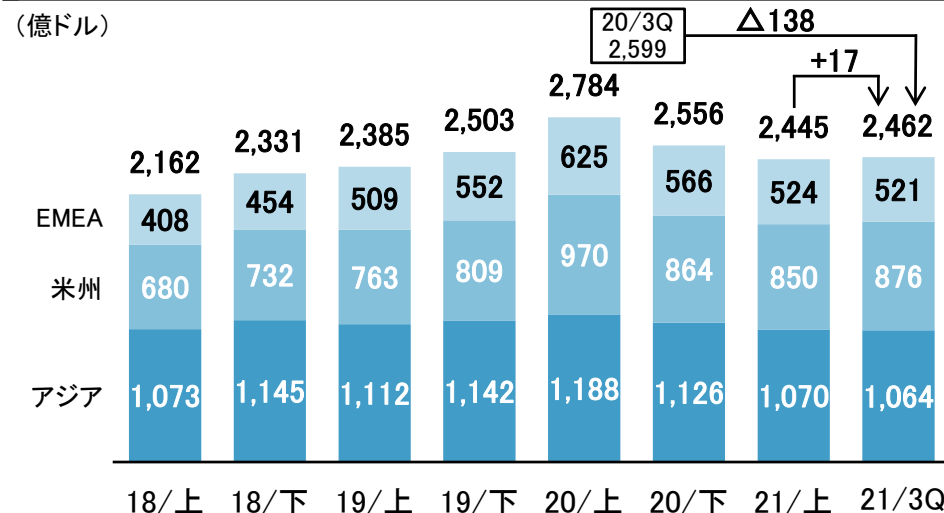
国内貸出金(平残)^{*1} BK+TB、管理会計



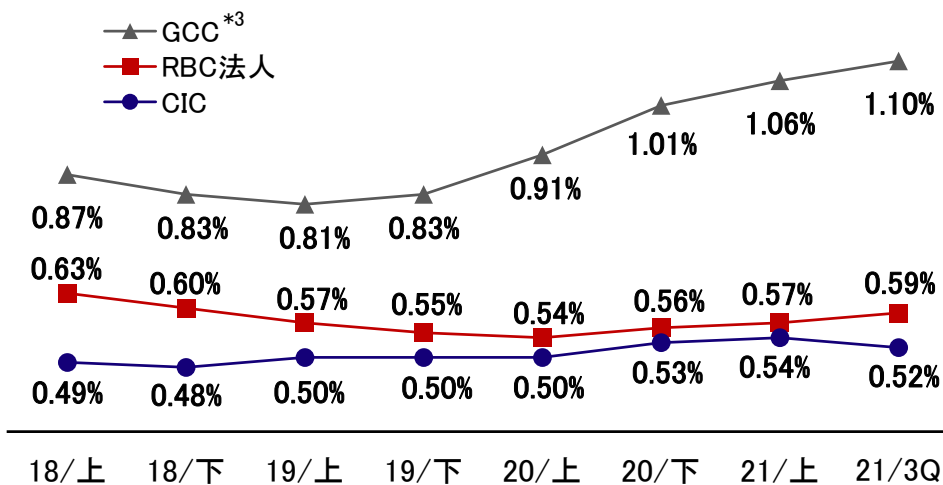
国内預貸金利回差^{*2} 2行合算



海外貸出金(平残)^{*1 *3} BK、管理会計



貸出金スプレッド^{*1} BK+TB、管理会計



*1: 21年度管理会計ルール(18/上~20/下は遡及修正)、グループ内貸出金を除く、国内は政府等向け貸出金を除く *2: 金融機関(FGを含む)・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

*3: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人)

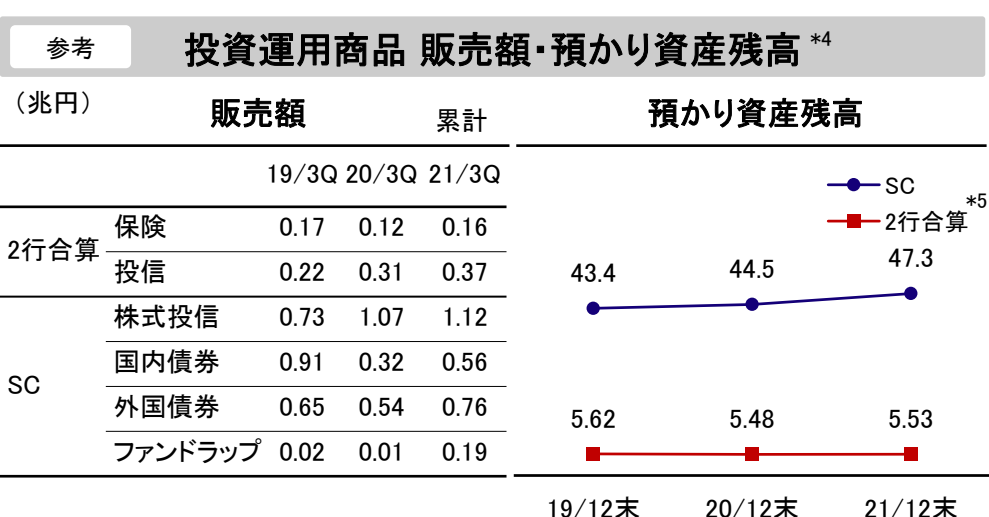
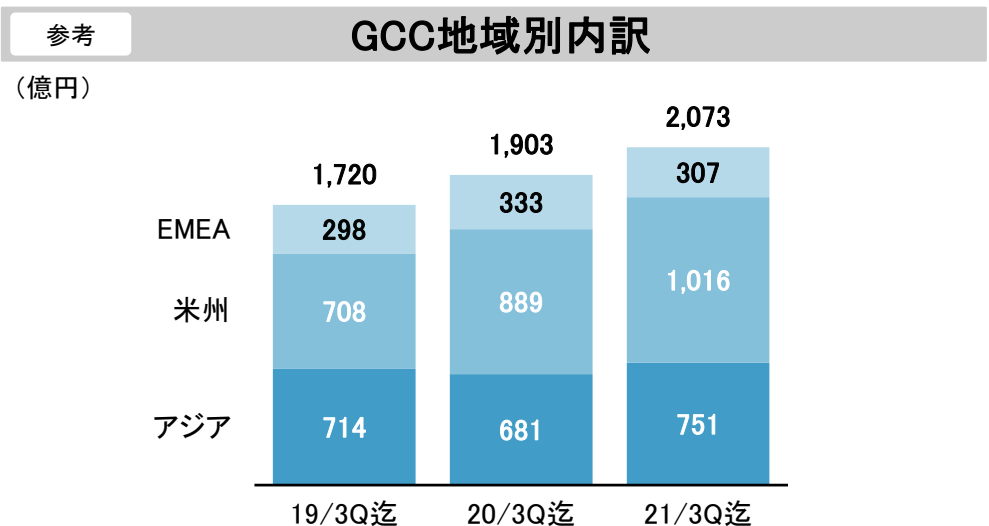
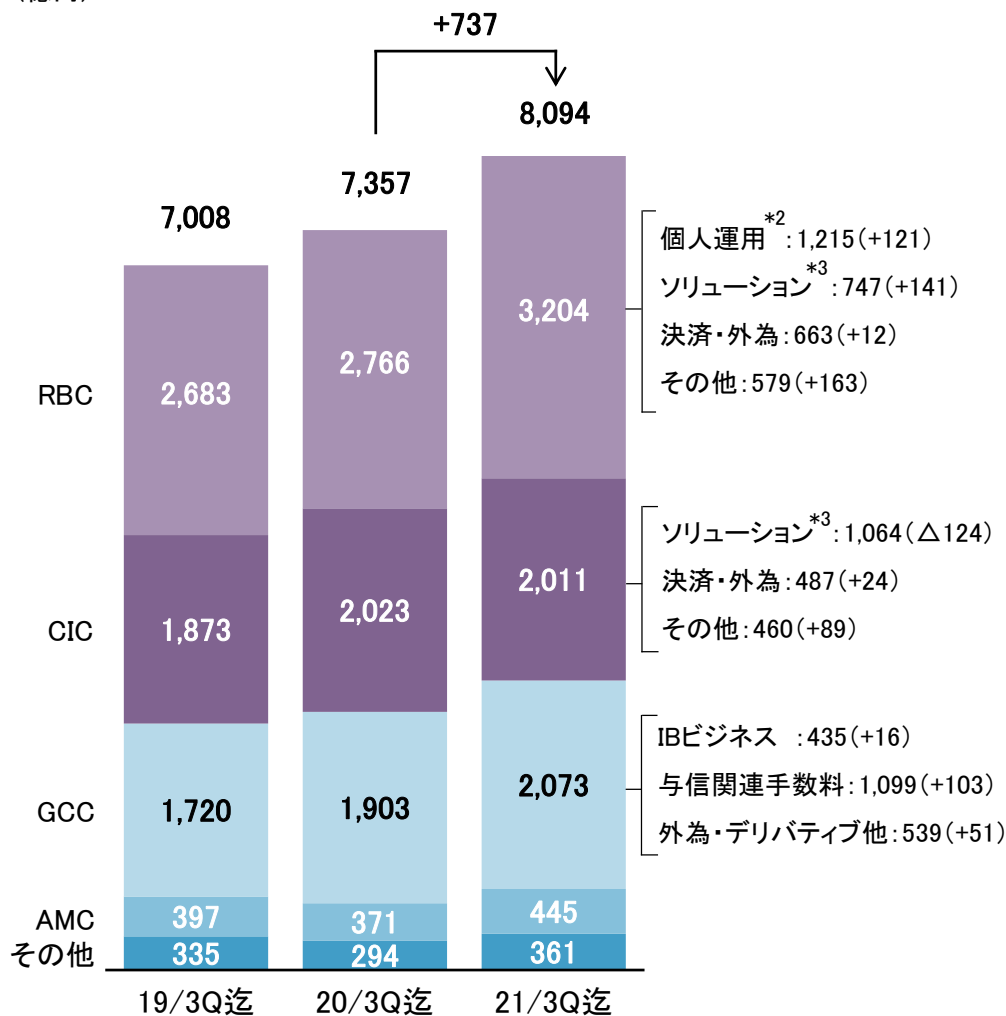
非金利収支

非金利収支(顧客部門)^{*1}

グループ合算、管理会計(速報値)

()内は前年同期比

(億円)



*1: 21年度計画レート適用、管理対象範囲の拡大・精緻化により、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、19/3Q: 6,990億円、20/3Q: 7,330億円 *2: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント

*3: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む *4: SCはリテール事業法人部門 *5: 保険、投資信託(除くMMF)、外貨預金の合計値

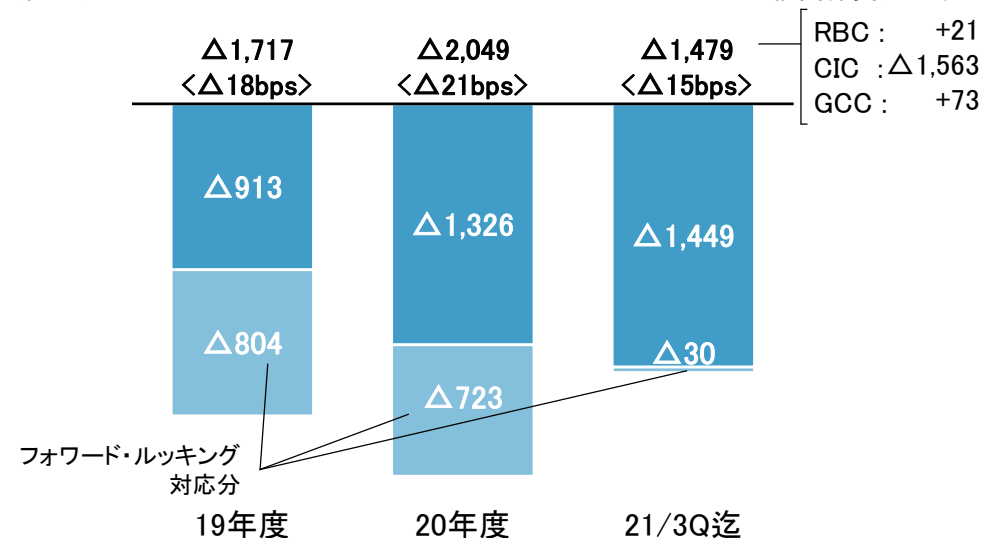
クレジットポートフォリオ

与信関係費用

連結

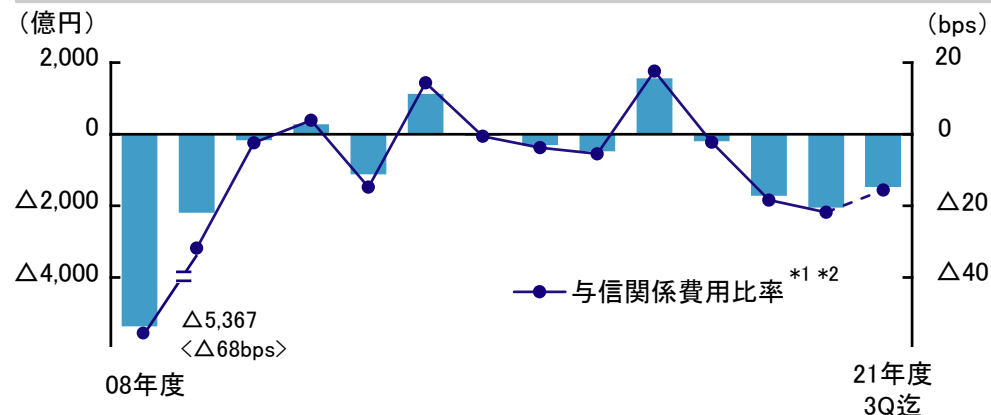
(億円)

< >内は与信関係費用比率*1



参考

過年度推移



金融再生法開示債権^{*3}

連結

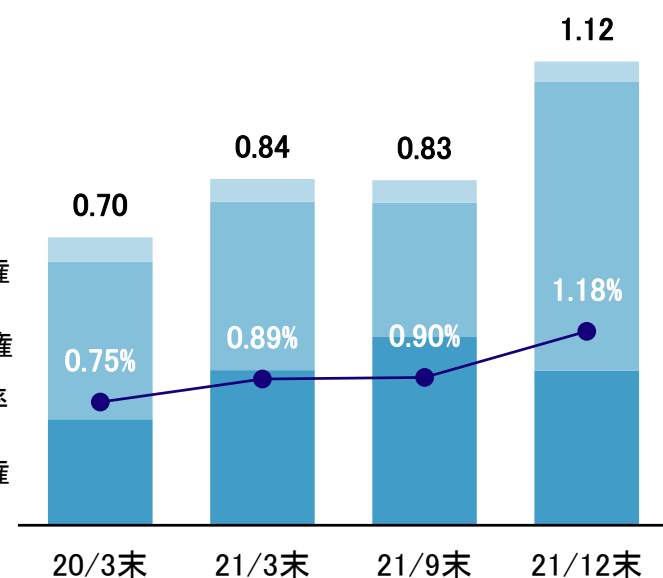
(兆円)

破産更生債権及び
これらに準ずる債権

危険債権

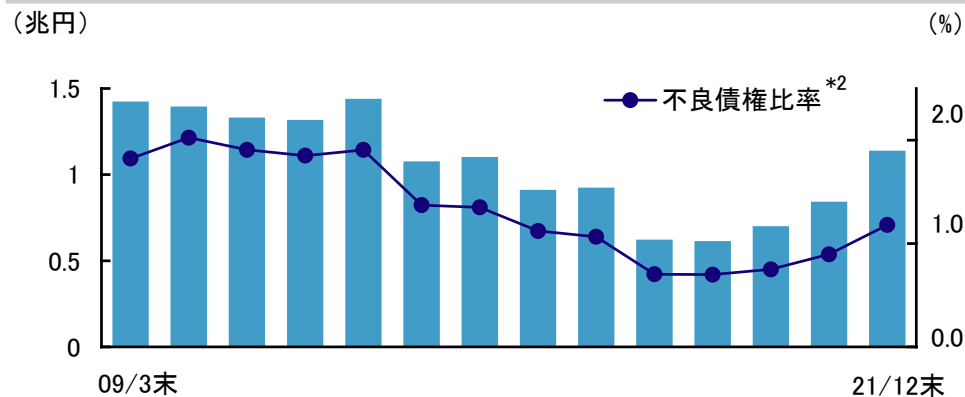
● 不良債権比率

要管理債権



参考

過年度推移

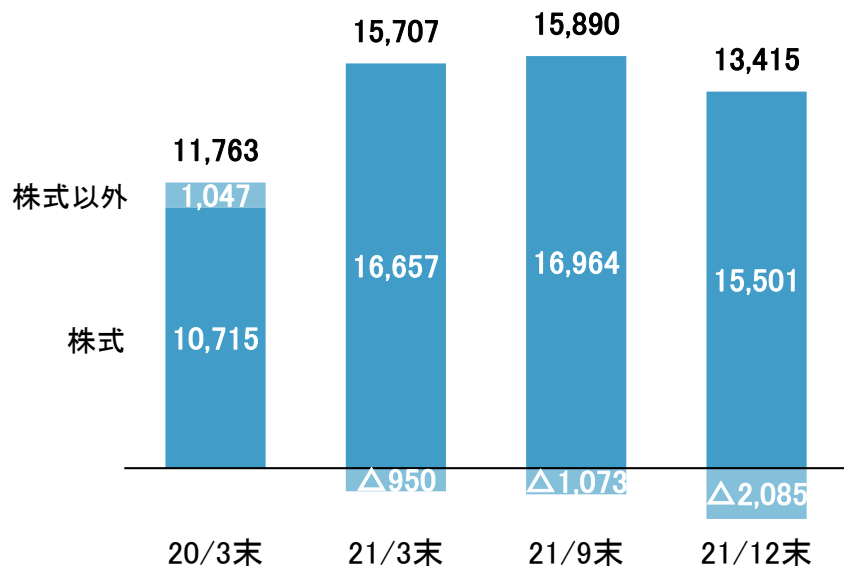


*1: 与信関係費用 / 期末総与信残高(信託勘定を含む) *2: 13年度以前は銀行単体合算の期末総与信残高を使用して算出 *3: 信託勘定を含む

有価証券ポートフォリオ

その他有価証券評価差額 ^{*1 *2} 連結

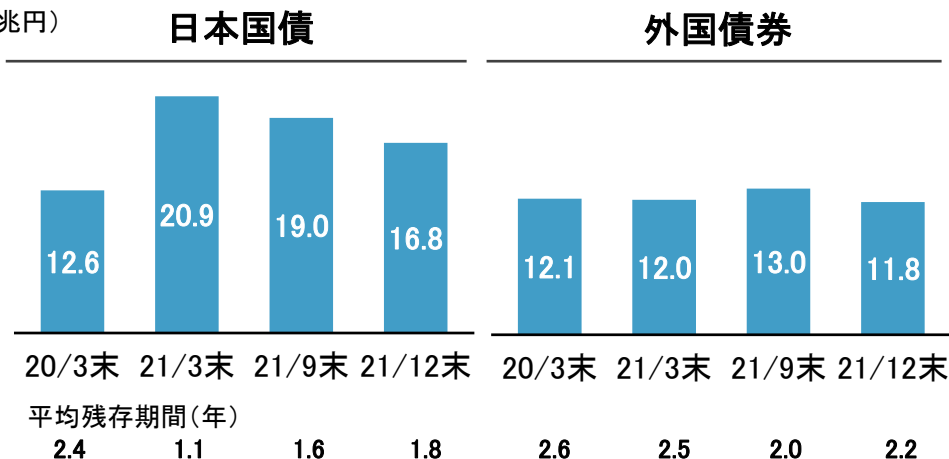
(億円)



	20/3末	21/3末	21/9末	21/12末
株式	10,715	16,657	16,964	15,501
株式以外	1,047	△950	△1,073	△2,085
債券	△541	△449	△351	△322
うち国債	△440	△317	△243	△208
外国債券	2,009	△330	△477	△1,645
その他	△420	△170	△245	△117
ベアファンド ^{*3}	862	△1,554	△1,281	△937
投資信託等	△1,282	1,384	1,035	820

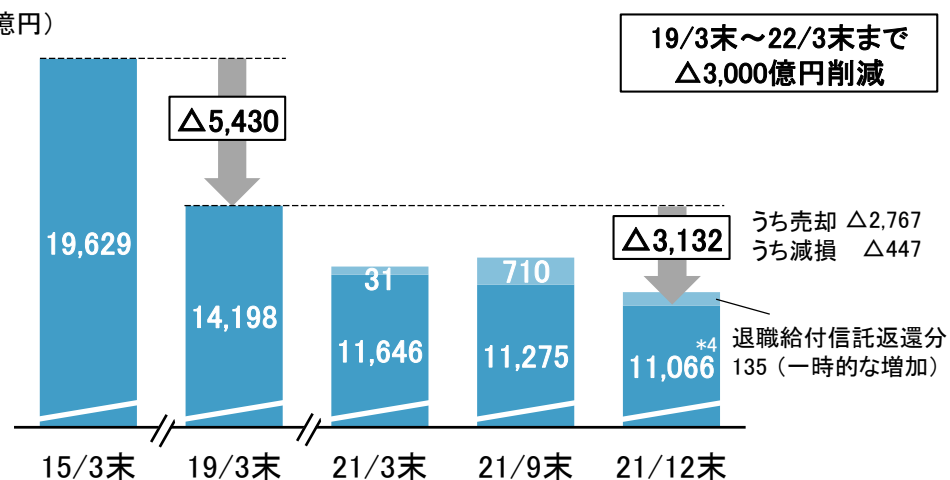
債券残高 ^{*2} 2行合算、取得原価

(兆円)



株式残高 ^{*2} 連結、取得原価

(億円)



*1: 純資産直入処理対象分、組合出資分を除く。21/3末以降: 期末日の時価に基づいて算定。20/3末: 株式は期末月1ヵ月の月中平均、それ以外は期末日の時価に基づいて算定

*2: その他有価証券で時価のあるもの *3: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分 *4: 退職給付信託返還分を除く今年度の株式残高削減額は△579億円(うち売却△573億円、減損△37億円)

(参考)米資本市場ビジネスへの取組み

Capstone Partnersの買収^{*1} (22年1月)

- LP^{*2} 投資家募集の強みを獲得し、スポンサービジネスのファイナンスバリューチェーン全体にサービスを提供



事業内容	プレースメントエージェント業務 ^{*3}
取得持分	米州みずほLLC ^{*5} 100% (完全子会社化)
特徴	1,500超のLP投資家ネットワーク
戦略的狙い	<ul style="list-style-type: none"> 米資本市場ビジネス強化 スポンサービジネスにファンド組成の段階から関与し、バリューチェーン全体を捕捉 Capstone Partnersの既存の投資家基盤に加え、みずほのアジア投資家ネットワークを活用

米資本市場における既存ビジネスの実績

引受シェア(順位)	FY19	FY20	FY21 H1
IG DCM ^{*6}	3.3% (9位)	3.4% (9位)	3.4% (8位)
Non-IG LCM/DCM ^{*7}	1.0% (25位)	1.4% (17位)	1.7% (19位)

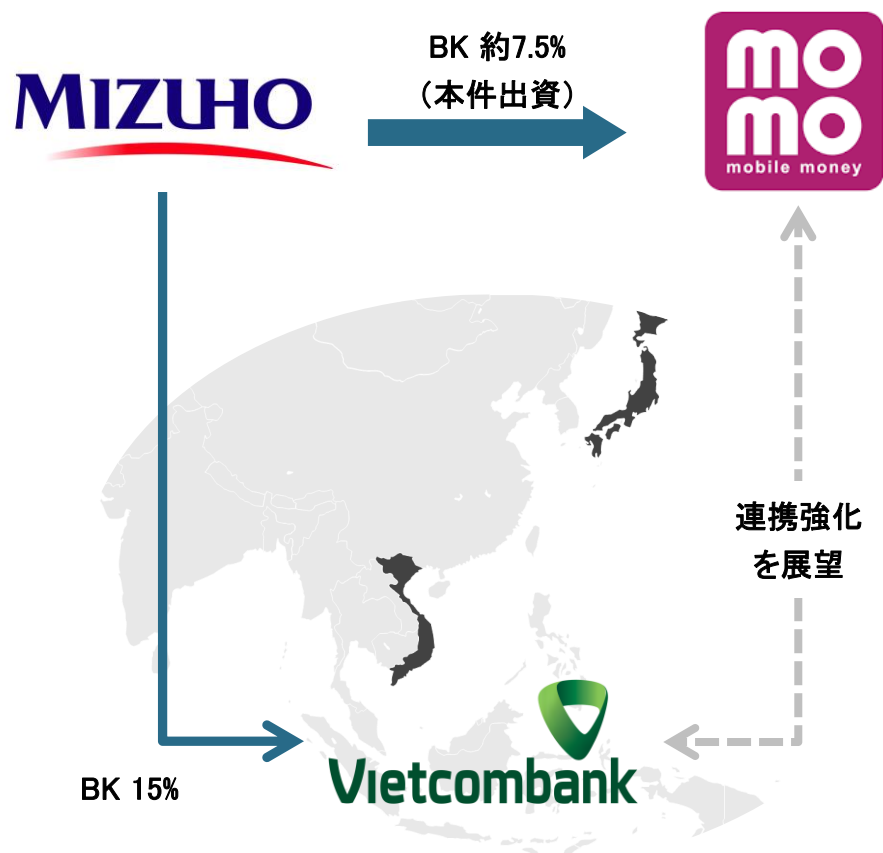
*1: 関連当局の許認可等取得次第 *2: Limited Partners *3: PEファンド等が資本調達を行う際のLP投資家を招聘する業務 *4: General Partners *5: BK100%子会社

*6: 投資適格の企業が発行する債券、フィーベース (出所)Dealogic *7: 非投資適格の企業が発行するハイ・イールド・ローン・債券、フィーベース (出所)Dealogic

(参考)アジアのデジタル金融への取組み

「Mサービス」への出資(21年12月)

- デジタル決済を軸にアジアの成長を取り込む
- 国内事業を通じ培った経験やノウハウの提供等により、金融包摂への貢献と、〈みずほ〉の事業ポートフォリオの拡充を図る



出資先	Online Mobile Services Joint Stock Company (Mサービス)
-----	---

事業内容	デジタル決済事業
------	----------

取得持分	BK 約7.5%
------	----------

- | | |
|----|---|
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none">• ベトナム国内におけるモバイル決済市場シェア5割
(ユーザー数:約3,000万人)• MoMoブランドでスーパーアプリの地位を確立 |
|----|---|

- | | |
|-------|---|
| 戦略的狙い | <ul style="list-style-type: none">• デジタル決済を軸にベトナムのリテール事業を加速• 金融包摂への貢献• 既存出資先のベトコンバンクとの連携強化も企図 |
|-------|---|